

〔Daily 日本史〕 ～武士の歴史～

【問】 2002年 立命館大学 国際関係, 文, 経済, 国際イ(国際関係), 人文総合科学, 文理総合(経済)

次の〔1〕～〔2〕の文章を読んで、～にもっとも適当な語句を入れ、かつ(a)～(e)の問いに答えよ。

〔1〕 10世紀以降、地方豪族のなかで、開発領主となる者があらわれた。^(a)かれらは、地方政治の末端を担うようになるとともに、支配領域を守るために武装するようになった。これが武士のおこりである。やがて、武士たちは連合し武士団を形成するようになるが、とくに有力となったのは、天皇家につながる源平二氏であった。桓武平氏は、桓武天皇の孫の高棟王が平姓を賜ったのが最初とされる。この系統は実務に明るい中級貴族として平安時代末期に至った。この高棟王流と並んで桓武平氏一族の中心になったのが、高棟王の甥にあたる王に発する系統で、武名を揚げて清盛に及んだ。まず王の孫の貞盛は、939年に関東に起こったを下野国の豪族らと協力して鎮圧したが、貞盛の子維衡は伊勢国に本拠を築き、伊勢平氏を号した。維衡の曾孫^{そうそん}で清盛の祖父正盛は^(b)白河上皇に重用され、ついに武士の頂点に立った。

一方、清和源氏と呼ばれる門流では、清和天皇の孫の経基王を始祖とする系統がもっとも繁栄した。経基の子の満仲は摂津国を京外の基盤とし、藤原摂関家と結んで勢力を伸ばした。満仲の次男頼親からは大和源氏が出て、やはり摂関家に仕えた。これらに対して、新たに河内国を本拠とする河内源氏の祖となったのが三男頼信である。頼信・・義家は(河内)源氏三代と称され、^(c)坂東・奥羽地方における戦乱の鎮圧などを通じて東国にも地盤を拡大、義家に至っては「武士の長者」と呼ばれる地位を築いた。義家の弟義光から常陸・甲斐・信濃の源氏諸族、義家の子義国の系統からは、上野・下野に拠点を置く源氏諸族が出た。しかし院政期に入り、義家の後継者らは新興の伊勢平氏に押されて振るわず、特に1159年に起こったで義朝^{ざんぱい}が惨敗して没落、その子頼朝による鎌倉幕府創設を待たねばならなかったのである。

(a) 下線部(a)に関連して、開発領主たちの中には、国司の下で国衙領における実務を担った者も多かった。その際にかれらが国司から任じられた役職として、**適当でないもの**を、次の㉠～㉤から一つ選び、記号で答えよ。

- ㉠ 下司 ㉡ 郷司 ㉢ 保司 ㉣ 郡司

(b) 下線部(b)に関連して、白河上皇は院政を開始したことで知られている。上皇の命令を受けた院司が発給する奉書形式の文書を何というか。もっとも適当なものを、次の㉠～㉤から一つ選び、記号で答えよ。

- ㉠ 院庁下文 ㉡ 御教書 ㉢ 院宣 ㉣ 綸旨

(c) 下線部(c)に関連して、源頼信が平定した乱は次のうちのどれか。もっとも適当なものを、次の㉠～㉤から一つ選び、記号で答えよ。

- ㉠ 平忠常の乱 ㉡ 後三年の役
㉢ 観応の擾乱 ㉣ 前九年の役

〔2〕 源平二氏が、交互に覇権を樹立するという考え方は、戦国時代から江戸時代まで武家の間で影響力を有していた考え方であった。たとえば、織田信長は、室町幕府最後の将軍 **F** と不和になりつつあった 1571 年頃から、平氏を名乗るようになっていた。これは、信長が源氏であった室町将軍家にとって代わろうとした意思のあらわれであると考えられている。次いで政権の座についた豊臣秀吉も、信長が討たれた **G** 直後には平氏を称し、征夷大將軍を望んだときには、源氏になるためにさまざまな画策をしたことが知られている。結局、秀吉は源氏を名乗ることは断念し、関白に任ぜられた後には、藤原氏を称することになる。もっとも、ほどなく (d) 秀吉は全く新しい豊臣という姓を勅許される ことになり、藤原姓であった期間は短かった。

徳川家康も、関ヶ原合戦で勝利をおさめた後に、公然と源氏を名乗った。いわば平氏に代わって、征夷大將軍として実権を掌握する意図を明確にしたことは間違いない。実は、家康が源氏を意識し始めたのは、はるか 1566 年に遡るといわれている。そもそも元は **H** 姓であったものを徳川に改姓したこと自体、自らの系図を上野の **I** 氏と結びつけ、源氏一族であることを名乗ることで三河守という官位を得るためであったといわれている。さらに、1560 年の **J** に敗北して以降、著しく勢力が衰えていたとはいえ、かつて家康が人質となっていた (e) 今川氏が源氏であったこと に対抗する意識もあったと考えられている。

いずれにせよ、源平二氏を武士団の棟梁とする考えは、平安時代から江戸時代まで引き継がれ、最終的に武家政権が崩壊することで、その歴史的意味を失うこととなる。

(d) 下線部(d)に関連して、秀吉が豊臣姓を勅許された時期と前後して、新しく天皇となったのはどれか。もっとも適当なものを、次の㉑～㉔から一つ選び、記号で答えよ。

- | | |
|---------|---------|
| ㉑ 正親町天皇 | ㉓ 後水尾天皇 |
| ㉒ 後奈良天皇 | ㉔ 後陽成天皇 |

(e) 下線部(e)に関連して、今川氏は駿河の守護大名から戦国大名となったが、かつては九州各国で守護を兼ね、九州の南朝方を制圧して室町幕府の支配を確立する上で活躍した時期があった。その時期の人物はどれか。もっとも適当なものを、次の㉕～㉘から一つ選び、記号で答えよ。

- | | |
|--------|--------|
| ㉕ 今川氏親 | ㉗ 今川貞世 |
| ㉖ 今川義元 | ㉘ 今川氏真 |

【解答】

A 高望 B 平将門の乱 C 多田 D 頼義

E 平治の乱 F 足利義昭 G 本能寺の変 H 松平

I 新田 J 桶狭間の戦い

(a) あ (b) う (c) あ (d) え (e) い